

令和5年11月28日 令和5年度学校だより NO.32⑤ 加古川市立平荘小学校

第23回平荘小学校狂言発表会≪NO.5≫ 狂言を通じて伝えたいこと"狂言発表会を終えて"

子どもたちにとって、楽しみでもありドキドキでもあった、狂言発表会を終える ことができました。子どもたちは、記念写真を撮った後、山口先生のお話を伺いました



子どもたちの 顔には、やり遂 げた達成感や充 実感と無事発表 会が終了した安 堵感等が溢れて いました。

子どもたちが 精一杯頑張った 素晴らしい発表 会になりまし た。





【山口先生のお話】

- ●緊張したでしょう。楽しかったですか? これから緊張する場面はいくらでも出てきます。緊張しても伝えなければならない場面はいくらでも出 てきます。
- ●自分が伝えた分だけ、自分に返ってくるのを感じられたと思います。
- ●観客が集中してくださっている(気配)のを感じましたか。人間は五感をもっていますが、気配は第六 感で感じます。
- 『気配を察する』ということは、『相手の気配を察する』ということです。相手の気配を察することがで
- きる人つまり、自分自身をみがく、そういう人になってほしいです。 ●平荘狂言は、リレー形式で表現します。狂言は、最初から最後まですっと笑いがとれる芸ではありません。ところどころにドカン・ドカンと笑いが起こります。その目立っているところだけに目をやるのでは ありません。目立っていないけれど、そこに大切なものがあるのです。



≪狂言発表会に向けて≫

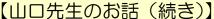






狂言発表会当日に、子どもたちがスムー ズに動けるようにと、準備をしています。





- 【山口先生のお話(続き)】 ●目立っているところだけ見てい たら、絶対に間違う。
- 見えない部分がほとんどです。 **本質は、見えていないところにあります。そういう目線(考え** 方)をもってほしいです。

子どもたちは、狂言発表会の会場準備を 進んでしていました。地域の方に感謝の思 いをもちながら、自分にできることを頑張 りました。



